

平成28年度  
北海道教育大学  
附属函館幼稚園だより  
NO. 14 【号】  
平成29年3月1日（水）



## 子どもを育てる場づくりをめざして

園長 橋本 忠和

いよいよ3月を迎えます。そして、ゆき組の卒園式は来週末、3月4日土曜日です。

そのゆき組を、はな組・つき組が、「おにいさん・おねえさん、今までありがとう、そして小学校生活を楽しんでください」という想いで送り出す「お別れ会」が先月16日にありました。そこで、ゆき組の子どもたちは、小学校でどんなことを学びたいか、楽しみたいか、ステージ上において笑顔でお話してくれました。その声は「やるぞ!」というモチベーションが溢れ、希望に満ちていました。

その様子を見ていて、私は大学の恩師、辻田邦嘉名誉教授の話を思い出しました。（図1）

図1はアメリカの「The Humanities」という題名の教科書の挿絵ですが、絵はケーキを4等分したものです。子どもが何かを習得する時、どのように学べばよいか示したものです。つまり、ケーキの4分の1のところ立っている旗には次のような言葉が書いてあります。

「4分の1は先生に教えてもらいましょう」・

「4分の1は友達に教えてもらいましょう」

そして、残りの旗には「のこりの4分の2は自分で学びましょう」と。

すなわち、この図は、子どもの主体的な学びを育てる場をつくるには、活動のねらいを明確にすると共に、子どもがいろいろ試みたり工夫をこらしたりするような場と子ども同士が協働で力を合わせて学べるような場をつくる必要性を指導者・保護者に示しています。

ゆき組、そして、はな組・つき組の子どもたちが、これから初めて出会う多様な学びに、今のモチベーションを保ち・高めて挑むことができるような場づくりを保護者の皆様と共に支え合いながら、今後も取り組んでいきたいと考えています。

ゆき組の保護者の方々も、卒園されても、時々園をのぞいていただき、子どもを育てる場づくりについてお話ができればと思います。

さて、幸いにも、本園では今のところインフルエンザや風邪の爆発的流行を防ぐことができています。ご家庭でのご配慮にお礼を申し上げます。

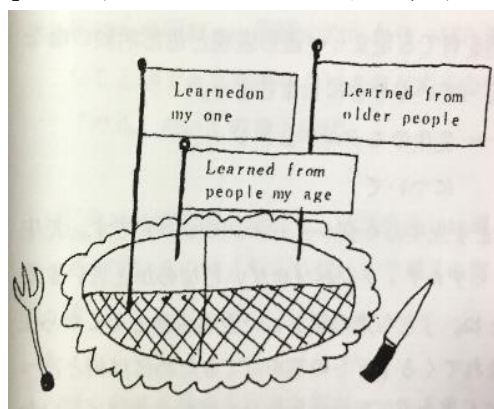


図1 学びの形態



図2 伊藤先生の指導を受ける ゆき組の園児たち